

科目名 (科目番号)	病理検査学Ⅱ (時間割参照)	教員名 當銘 良也	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	月・2 B207研究室	
授業概要	主な疾病についてその成因，臓器変化並びに疾病の診断や病因・病態の解明に寄与し得るような病理学的検査法が教授される。病理検査学の学習を通して疾病の本態を理解し，医学・医療の基本的知識・思考が習得されることを目標とする。ここでは主に、病理学的診断における細胞診断検査の基礎知識や、子宮頸部、子宮体部・卵巣、呼吸器、乳腺、甲状腺、泌尿器、体腔液などの細胞識別能力を習得する。						
目的・目標	目的:病理診断に必要な組織標本作製法および細胞検査法を理解する。 目標:①病理診断に必要な組織標本作製法および細胞検査法を理解し、疾病への理解を深める。 ②病理組織標本作製法および細胞検査法を通して解剖学や病理学の知識を深める。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	免疫組織化学染色	到達目標:各種の免疫組織化学染色法の原理と手技の違いを理解する。 学習内容:各種の免疫組織化学染色法の原理と手技の違いを学習する。				
	2	分子生物学的手法とコンパニオン診断	到達目標:病理検査学領域で用いられている分子生物学的手法とコンパニオン診断について学習する。 学習内容:病理検査学領域で用いられている分子生物学的手法とコンパニオン診断について理解する。				
	3	電子顕微鏡標本の作製	到達目標:電子顕微鏡標本作製のための固定法、包埋、超薄切法について理解する。 学習内容:電子顕微鏡標本作製のための固定法、包埋、超薄切法について学習する。				
	4	病理解剖および関係法規	到達目標:病理解剖および関係法規について理解する。 学習内容:病理解剖および関係法規について学習する。				
	5	細胞診検査の基礎1	到達目標:細胞診検査の基礎を理解する。 学習内容:細胞診検査の基礎を学習する。				
	6	細胞診検査の基礎2	到達目標:標本作製法と細胞像の基本的な見方が理解する。 学習内容:標本作製法と細胞像の基本的な見方が学習する。				
	7	女性生殖器	到達目標:女性生殖器に出現する良性および悪性細胞の細胞学的特徴を理解する。 学習内容:女性生殖器に出現する良性および悪性細胞の細胞学的特徴を学習する。				
	8	呼吸器その他	到達目標:呼吸器、乳腺、甲状腺、泌尿器、リンパ節、・体腔液に出現する良性および悪性細胞の細胞学的特徴を理解する。 学習内容:呼吸器、乳腺、甲状腺、泌尿器、リンパ節、・体腔液に出現する良性および悪性細胞の細胞学的特徴を学習する。				
成績評価の方法・基準	試験100%						
教科書	最新臨床検査学講座 病理学／病理検査学第1版 最新刷		松原修、丸山隆、中田穂出美他		医歯薬出版		
参考図書	最新染色法のすべて 基礎病理技術学		水口 國雄 編 NPO法人病理技術研究会		医歯薬出版 笹氣出版印刷		
教員からのメッセージ	時間数が少ないので内容の濃い授業になります。Googleclassroom資料と教科書を予習して授業に臨むこと。 病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。						